

# 我が町政を問う 一般質問

12月定例会では、6人の議員から15件の※一般質問が行われ、2日間にわたり、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は10ページから15ページです。なお、全文記録(議事録)については、3月中に滑川町ホームページ (<http://www.town.namegawa.lg.jp>) に掲載しますのでご覧ください。

## ●北堀 一廣(10ページ)

- ・羽尾十三塚地内の道路整備計画
- ・町道122号線舗装補修の進捗状況

## ●上野 廣(11ページ)

- ・コミセンに防災機能を備えた大ホール建設を
- ・ため池の保全・整備・活用状況

## ●北村 徳章(12ページ)

- ・滑川町の総合振興計画

## ●森田 泰雄(13ページ)

- ・自主防災組織
- ・防災行政無線対策
- ・買い物弱者対策
- ・ゴミ排出量削減を目標として

## ●上野 憲子(14ページ)

- ・消費者庁貸与の放射性物質検査機器の活用状況
- ・「健康づくり」の地域推進会議をふまえて今後の実践

## ●大山 尚美(15ページ)

- ・コンビニにおける証明書等の交付
- ・次世代育成支援推進
- ・小型家電リサイクル法
- ・こころの体温計

一般質問は  
次ページより

※一般質問＝議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すこと。

## 議会運営委員会報告 (所管事務調査報告)

11月15日、宮城県松島町を訪問し、東日本大震災の復興状況と議会基本条例について所管事務調査を行いました。なお、滑川町は松島町と11月3日、災害相互支援協定を締結しました。

### (1) 東日本大震災の復興状況について

平成23年3月11日発生時からの被災者の避難所・状況等、公共施設の被害、交通状況等、パワーポイントでの説明を受けました。復興に向けての震災復興計画を平成23年度から

平成27年度までを目途に立て、計画コンセプト「復興」

- 基本理念
- 1. 絆と協働を基調とした「復興」
- 2. 復興による新しい松島の「創造」

### 3. 連携による広域的な「貢献」

災害相互支援協定については2市・2町との協定書取り交わしを行い、3市、1区、2町が松島町への災害派遣職員支援を行っているとのことです。

### (2) 松島町議会基本条例について

① 制定の経緯  
議会は、自由闊達な討議を通じて、これらの使命を達成するため、議員間の自由な討議の展開、町長等の行政機関との持続的な緊張の保持、議

員の自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備等について、平成20年3月に制定したものです。

### ② 議会報告会の状況

報告会は議会活動を報告し、意見・町政に対する提言等を聴取して、議会運営・行政執行に反映させています。

### ③ 町長の反問権

議長から本会議並びに常任委員会及び特別委員会への出席を要請された町長等は議員の質問に対して議長または委員長の許可を得て反問するところがうかがえます。

## まとめ

松島町議会では、二元代表制の一方の機関として、町民の意思や希望等を町民との対話を行うことによって、的確に把握し、吸い上げ、反映させることが使命の一つであるとしています。



北堀 一廣 議員

**問** 道路整備計画は

**答** 整備計画を検討します

**問** 羽尾十三塚地内からみなみ野に通じる道路の老朽化により、路面が大変傷んだ状況にあります。また、道路側溝がないため、舗装面と路肩部分に段差があり、危険な状態になっております。この地域の大切な生活道路ですので、安全・安心な環境を確保するための、整備計画をうかがいます。

**答** 当該道路は町の南東部に位置し、東松山市との行政界から、みなみ野地内の町道158号線に、接続する道路で町道、9303号線です。この道路は、東武東上線

の旧鉄道敷であったために、整備が進まなかったものと思われま。東武鉄道と協議を進める中で整備計画を、検討します。

**問** 道路敷地の地権者は東武鉄道ですか。

**答** 東武鉄道株式会社です。

**問** 延長や幅員はどのような状況ですか。

**答** Lは約570m、Wは8〜12m程度です。

**問** 近年住宅が増えています。この地域は市街化区域または、調整区域ですか。

**答** 都市計画法第34条11号の区域がほとんどで、調整区域です。排水先や、面積(300㎡)あれば建設可能です。

**問** 現在の住宅の生活排水等はどのようにしていますか。

**答** U字溝がない箇所は宅地内吸い込みが多いようです。

**問** 道路用地の買収面積は。

**答** 約5400㎡です。

**問** 東松山市分は買収済みですか。

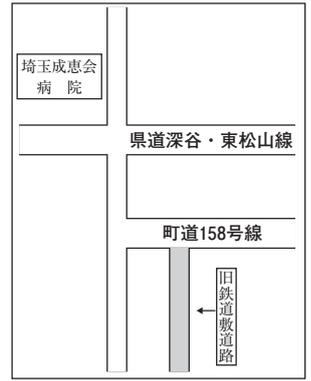
**答** 買収済み(昭和57年頃)です。

**問** 舗装幅員は。

**答** 4m程度です。



旧鉄道敷道路



**問** 町道舗装補修の進捗状況は

**答** 優先順位をつけて対応します

**問** ※町道122号線舗装補修の進捗状況は。

**答** 昨年12月に答弁の中で、国、県の補助金、交付金を頂ければ、早く対応出来るかと回答しましたが、補助金は難しい状況です。しかしながら、各地区の要望を把握し、対応していきたいと考えています。

※町道122号線：駒形信号から宮前小学校下まで



上野 廣 議員

## 問 コミセンに防災機能を備えた大ホール併設を

答 複合施設建設の方向で

**問** 滑川町のコミュニティセンターは、町民の生涯学習、文化活動の拠点としての機能を果たしていますが、人口急増や社会の変化により、町民ニーズに十分対応できていません。



コミュニティセンター

**答** 第4次滑川町総合基本計画基本構想・後期基本計画にも、「町民の要望に即した生涯学習の拠点となる施設の建設を検討する必要があります」とあります。

現在の利用状況、後期基本計画の検討状況、防災機能を備えたホール併設の可能性をうかがいます。

**答** 昭和54年にオープンし、町民に愛され、年間約3万人の利用があります。今後複合施設を建設する方向で検討しています。「防災機能を備えたホール併設」も含め、町民の皆さんの意見をうかがい、用地確保を目指したいと考えています。

## 問 ため池の保全・整備・活用状況は

答 地域の活性化に寄与

**問** 滑川町には約200ものため池があり、埼玉県の中村では最も多く、埼玉県全体の1/4に相当するといわれています。

ため池は田んぼなどの水源として大切なもので、町の貴重な財産です。

現在の、ため池の保全・整備・活用状況をうかがいます。

**答** ため池の保全は、水利組合が管理全般をします。また、現在、堤の危険なため池8箇所の整備を、優先順位をつけて推進しています。ため池の活用は、伊古の里管理組合の冬場だけのフィッシングパーク、谷津の里では、ため池まわりの健康ロード、県の水辺100選で整備された親水公園の活用（親睦ます釣り大会）などが地域活性化に寄与しています。

**問** ため池文化の伝承やミヤコタナゴの野生復帰の可能性は。

**答** 子どもたちへの環境学習の中で、ため池の歴史



伊古の里フィッシングパーク

**問** 町の貴重な財産であるため池を長期的に、かつ健全に保全するために、「ため池保全条例の制定」は。

**答** 今後、検討していきます。

文化を、出前授業として行っています。福田小学校では福田地内の、ため池周辺の清掃を毎年実施しています。ミヤコタナゴの野生復帰には必須の、二枚貝の生態が解明されてきており、野生復帰の可能性が出てきました。エコミュージアムセンター内の中庭ビオトープで200匹の繁殖に成功しています。



北村 徳章 議員

**問** 総合振興計画は

**答** 住民主体のまちづくりを推進

**問** 第4次滑川町総合振興計画の、現在までの達成状況と進捗状況及び、第5次総合振興計画の計画状況は。

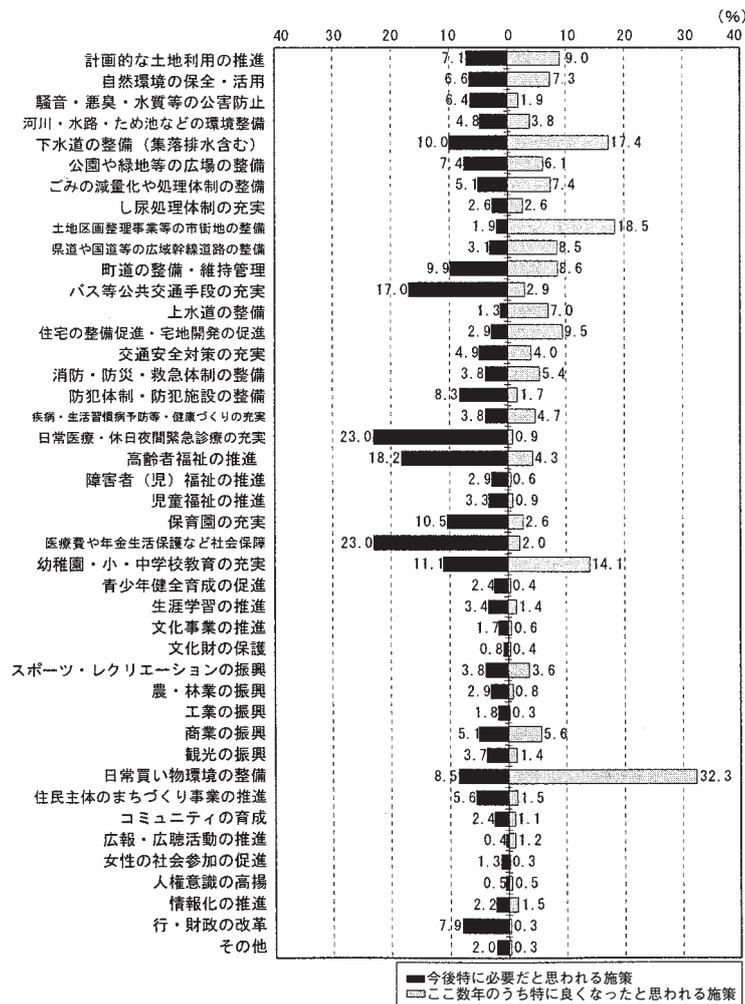
**答** 達成状況と進捗状況は、22年度で終了した中期計画までの施策を検証して後期計画に見直しをし、評価・施策の達成状況は5段階で行っております。

1番目は完了(終了)施策総数268中15施策(5.6%)、2番目は完了(継続)174施策(64.9%)、3番目は未完了(事業中)72施策(26.9%)、4番目は未着手5施策(1.9%)、5番目は休止(中止)2施策(0.7%)でした。

平成13年からの振興計画の中で、買い物環境の改善が求められ、16年にヤオコーつきのわ店・デイトーがオープン、平成18年にはベイシア・カインズなどのなめがわ森林モールが開店し、コンビニなども地域に増えている状況です。

買い物環境は良くなって来ていると思いますが、今後は交通機関による高齢者等の買い物が今後の課題だと思います。

■今後特に必要だと思われる施策・ここ数年のうち特に良くなったと思われる施策件数【上位・複数回答】



※第4次総合振興計画より抜粋

農業関係では、整備の促進から、ほ場整備を行っており、整備率は平成21年度で54.98%、現在では68.6%になっており山田地区の整備が終われば27年度の目標が達成できる状況で、第5次総合振興計画中に出来る限り全地域で完了するよう努力します。

企業誘致については、平成22年に竹島合成、23年にはワタミを誘致し、町内の雇用対策にも繋がっており、今後も企業誘致については、関係機

関と協議の上スムーズな誘致が行われるよう努力します。

**問** PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)を実施している様ですが、どのような項目で作業を行っていますか。

**答** 環境に配慮した都市づくり・『都市機能の充実』・『福祉社会の形成』・『生涯学習のまちづくり』・『環境に配慮した産業育成』・『住民主体のまちづくり』この6部

門に視点を当て、検証・見直しを行う中で23年度からの後期基本計画を策定しました。

次期総合振興計画についてもPDCAサイクルを使い、26〜27年度の2カ年度を継続事業とし、28年度から第5次滑川町総合振興計画をスタートさせる考えです。

**要望** 次期振興計画の審議会委員には若い世代の委員も増員して頂きたい。



森田 泰雄 議員

## 問 自主防災組織を強固な形に

答 消防団、消防署のOBを指導者に迎える検討を

**問** 自主防災組織内に、自力歩行が困難の人やハンデを持った人達の把握が、個人情報保護法等がネックになり把握が出来ない問題を今後どの様に扱うか統一見解を。

**答** 自主防災組織の継続性を持たせる対応として、消防団OBや消防署のOBを指導者とするなど組織編成の検討をします。



防災行政無線の機器



**答** 本人及び家族の同意が得られた場合、組織内に連絡し、関係者に周知徹底をお願いしていきます。

**問** 災害は突然予想も無く発生するもので、大きな被害をもたらすため、防災パケットを配布すべきと思いますが。

**答** 東日本大震災以後、災害対策の見直しをしようとするため、完成次第配布をします。

## 問 防災行政無線を電話で確認

答 平成25年4月より実施予定

**防災行政無線対策**

**問** 防災行政無線放送塔に近接した家では音が大きくうるさい、反面遠い所では聞き取れない等の苦情が発生しています。

**答** 防災行政無線を電話で確認できる報道を聞き、NTTに確認の結果、フリーダイヤルにて無料で防災内容が確認できる、システムの紹介がありました。至急導入の検討を。

**問** 24年度中にシステムを構築し、25年4月からの実施を目指します。

**買物弱者対策**

**問** 国勢調査によると、買物弱者が65歳以上で310万人おり、経済産業省は「家まで、食材を届ける」事を提案しています。現在JA埼玉では、食材宅配サービスを実施していますので提案します。

食材コースは8種類あり、262品目の中より自由に選択できるシステムです。宅配は1日置に実施され、注文数は、2・3・4人用の3種類です。料金は2人用で1200円から1400円です。



**答** 「買物弱者」のためにこの様な食材を社協を通じて案内をしては。更に、同業者が来たら、公平な案内を。社協を通じて検討します。

**問** ゴミ排出量削減を目指して各家庭で「おにぎり1ケ分(110g)の減少により年間760万円の節減となると公表されましたが非常に良い事と思えますので更なる節減対策を。

**答** 水きり確認、資源ゴミの分別、コンポストを利用した家庭内処理等の方法をご理解頂き、広報等により、減量化の積極的な取り組みをお願いしていきます。





上野 憲子 議員

**問** 町内農産物の  
安心安全は

**答** 検査機器の活用拡大で

**問** 滑川町の農産物直売所で販売されていた原木シイタケから国の基準値を超える放射性セシウムが検出されました。町内農産物の安心安全を守るための消費者庁貸与の放射性物質検査機器の活用状況は。

**答** 10月16日から測定をはじめました。11月に原木シイタケ7検体を測定し、セシウム合計80ベクレルを超えていた物もありましたが、数値が下がってきていたので、国の基準値以下ということで販売していました。

**問** 今回は厚生労働省の抜き打ち検査で判明しましたが、このことは、消費者のみならず、生産者にとっても大刺激でした。検査機器の活用が不十分であると考えますか。

**答** 今後、町内の農産物直売所、各種農業団体や町民に周知徹底を行っていきます。



検査機器で測定中

**問** 検査機器の実施要領では、測定対象品を町内で販売目的等で生産された農産物とありますが、家庭菜園や自家栽培の野菜まで対象品を拡大する考えは。

**答** 今後は拡大する方向で検討していきます。

**問** 学校給食の町独自の原材料の測定の考えは。

**答** 給食測定値は、現状で東松山の数値でカバーされています。測定機器の有効利用の中で考えていきます。

**問** 特定検診の受診率アップ対策は

**答** 集団検診の回数をふやすなど

**問** 「健康づくり」の地域推進会議をふまえ、地域に入り主旨を説明しています。今後どのように実践していくのですか。また、町民の反応は。

**答** 32回の説明会を行ないましたが、現状では反応はまだまだと感じています。25年度には、健康づくり推進委員を地域につくり、長期的に行なっていく予定です。

**問** 行動計画では、特定検診の受診率を前年比10%アップをにかけていますが、対策は。

**答** 毎年春に行なっている集団検診を今年は秋も行ないました。定期的な受診し検査を行なっている人については、総数から減らせるように国に要望しています。

**問** 受診後のチェックについては、基幹施設の整備やマンパワーの確保が必要と思えますか。

**答** 25年度については保健師1名を増員し、今後は連携できる機関との協議を行なえるようすすめていきます。



大山 尚美 議員

## 問 証明書のコンビニ交付を

### 答 マイナンバー制度開始の時に

**問** コンビニ交付サービスは、住民基本台帳カードを利用すれば、コンビニのマルチコピー機から住民票や税証明等を取れます。曜日に関係なく6時半～23時位迄利用出来とても便利です。町での取り入れの考えは。

**答** 自動交付機が2台あるので、当面は町民カードでの取得のみで対応したい。

**問** 平成26年より自治体クラウド化に滑川町が参入する時に取り入れは。

**答** 平成28年以降に国が予定しているマイナンバー制度開始にあわせて発行を検討していきます。



コンビニ交付サービス イメージ図

**問** 広域発行のオプションはつけられますか。また、住民票の写し、印鑑登録証明書、各種税証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写しの交付が出来るようになりますか。

**答** 可能になるように検討をしていきます。

### 次世代育成支援推進

**問** 日本女性のがん検診率は欧米の7～8割に比べ、2割程度と低迷しています。女性特有のがん予防教育を小中学校で盛り込むことは。

**答** 各学年に応じたがん教育は実施しています。

**問** 子宮頸がん検査に、HPV検査導入は。

**答** 国の動向をみて検討をしていきます。

**問** 不妊治療の助成金として埼玉県では15万円出しています。その周知は。

**答** 保健センターで行っていますが、広報やホームページに載せていきます。

**問** 一回の治療が高額です。町独自での助成への考えは。

**答** 検討したいと思いません。

## 問 レアメタルの回収を

**答** 国のガイドラインが示されてから

**問** 平成25年4月から、小型家電リサイクル法が実施になります。レアメタルの再資源化促進の為に、町での小型家電の回収は。

**答** 現在、毎月第3火曜日

の「金属類の日」に回収しています。詳細なガイドラインが国から示されてから確認し協議を行います。

### こころの体温計

**問** 自殺予防対策の一つとして、うつ病への対応が必要で、こころの体温計というストレス診断のホームページ取り入れは。

**答** 健康づくり専用のホームページを立ちあげる時、検討していきます。

※クラウド……データを自分のパソコンではなく、インターネット上に保存する使い方。  
※レアメタル……希少金属